



佐賀縣神埼郡長郡山軍助外四名  
任免ノ件

右謹テ奏ス

明治四十一年十月二十二日

内閣總理大臣侯爵桂太郎

内閣



27

文内 五〇七  
十月二十日

明治三十二年十月二十日

内閣書記官



内閣總理大臣 木

内閣書記官長 尾

佐賀縣神埼郡長從六位勲五等 郡山 軍助

任佐賀縣西松浦郡長

叙高等官五等

佐賀縣三養基郡長從七位勲七等 福地 由庶

任佐賀縣神埼郡長

叙高等官七等

内閣

内務属六位勲七等 白仁 賢捷

任佐賀縣三養基郡長

叙高等官八等

佐賀縣西松浦郡長 太田 祥助

依願免本官

仙臺醫學專門學校教授 須田 勝三郎

依願免本官

佐賀縣三養基郡長從七位勳七等 福地由麩

任佐賀縣神埼郡長

敘高等官七等

佐賀縣神埼郡長從六位勳五等 郡山軍助

任佐賀縣西松浦郡長

敘高等官五等

右謹テ奏ス

明治四十一年十月廿日

内務大臣法學博士男爵平田東助

内



内務属三位勲七等

白仁賢捷

任佐賀縣三養基郡長

叙高等官八等

右明治二十三年勅令第九號ニ依リ郡區

長試験委員長ノ銓衡ヲ經謹テ奏ス

明治四十一年十月廿日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内務省

郡第 四四號

右者本人之履歷書ニ依リ銓衡候處  
長相當ノ資格アリ者ト認ム  
白仁 賢捷  
郡

明治四十二年十月廿日  
郡區長試驗委員長 佐喜徳郎

内務省

裏面白紙

佐賀縣西松浦郡長

太田祥助

依願免本官

右文官分限令第三條第一項第二號前段

依願謹テ奏ス

明治四十一年十月廿日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内務省

辭任狀

小安義

為武治斷書之建羅名何子  
孫始之難任其官建之辭任  
以能治方事及付如古教也

明治四十一年九月廿八日

代任品西野浦郡長方田祥也



内務大臣法學博士方田東助殿

診断書

太田 祥助

辛二年

病名 関子郎 リヨマナス

癸病 本年 病ハ 明治三十九年 十月

月十日 頃 癸生シ 諸部 関節ヲ

侵シ 約四拾日間 就 甚厚セリ

現症 体格 中等 榮養 良 脈

膊ハ 拾參 數ニノ 心悸 元進 肘関 節

膝関 節 足関 節 等ニ 疼痛 覺

西公甫部 診断書 丙完



且氣候變更ノ際當ニ症増進シ起居  
 動作不可能トナルコアリ亦々心  
 部ニ雜立日ヲ聽取モ前記諸  
 節ハ痛々腫脹シ他傷的及ニ自  
 的運動ニ際シ疼痛ヲ感ス  
 顔面右側ノ症狀ニ由リ繁劇ナ  
 ル職醫ニ堪ヘザルモノト診断仕候  
 也

明治四十一年  
 九月二十八日  
 佐垣 西松 浦 郡 恙 善 病 院  
 院長 医学士 武田 坦



仙臺醫學專門學校教授須田勝三郎

依願免本官

右謹テ奏ス

明治四十一年十月十九日

文部大臣小松原英太郎



文部省

辭職願

私儀

宿病、為職務ニ堪ハズ於ニ付辭職仕度  
於条得聽許被下度別紙留師於新書  
相添ハ此段相願於也

明治四十一年十月十日

仙臺醫學高等學校教授

淡田勝三郎 ○

文部大臣小松原英吉郎殿

裏面白紙

裏面白紙

於書

浜田翁三郎

右者本年三月頃より神經衰弱症に罹  
リ頭重眩暈不眠等ヲ来セシカモ亦來症  
并快方ニ赴カス所ヲ迫来ニ至リ増悪ニ  
加之ナラス記憶力衰ハルルニ至リタル  
ニ以テ余余候ニ相ケテ静養ニ努メテ及  
於所共也

明治四十一年十月十日

宮城病院内科部勤務

玉造弥七郎

〇

内務大臣第六六三號

別紙太田祥助外三名 任免 一件  
上奏書進達又  
明治四十一年十月廿日

内務大臣法學博士男爵平田東助



内閣總理大臣侯爵桂 太郎 殿

内務省

裏面白紙

須田辰三郎依願免官ノ件  
右 上奏書及進達候也

明治四十一年十月十九日

文部大臣小松原英太郎



内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

文 部 省